



しののめYMCAこども園

園だより

2017年度 12月号

発行者：こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。

12月の聖句 「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ」
ルカによる福音書 2章 14節

11月に入り、各学年クリスマスに向けての準備が始まりました。

準備と言っても、教室や園内の装飾、オーナメント等の制作ではありません。私たちが準備として大切に進めていきたい事は、『クリスマスを迎え入れる心』の準備です。

先日、年少さんの礼拝に出席をしました。ちょうどクリスマスのお話でした。

『クリスマスって、なあに？』。サンタクロースが来る日・プレゼントが貰える日・美味しいケーキやチキンを食べる日・イルミネーションが綺麗な日等々、たくさんの答えが返ってきました。

『そうだね〜』と応えながら、先生は紙芝居を読み始めました。それは、「世界で初めてのクリスマス・イエス様生誕」のお話で、園児たちは先生の声に真剣に耳を傾けていました。

年長さんは「イエス様生誕の物語」を伝えるメッセンジャーとして、それぞれが役を担い、クリスマスページェントを演じます。メッセンジャーとして役を担う年長さんですが、年少さんの頃は、今年の年少さんと同様の姿でありました。

あれから2年が経ち、今年のメッセンジャーとしての役決めが先日行われました。必ずと言って良いほど希望の役は重複するものですが、役を決めるにあたり、希望者同士で集まり、『なぜ私はこの役をやりたいのか』と言う想いや、気持ちを述べ合うグループもあったと聞いています。保護者の方々に披露する前に、本番同様の衣装をまとった年長さんが、年少さんや年中さんの前でクリスマスページェントを演じます。その姿を見た時から、希望の役を心に決めていた園児もいるようです。

子どもたちがクリスマスの意味を理解し、しっかりと受け止められる気持ちや心がもてるように、ゆっくりと育てていきたいと考えています。そして、『クリスマスを迎え入れる心』の準備を進めながら、共にクリスマスを祝したいと願っています。

園長 堀江和広